

亭主立出てさまぐゝ物がたりし侍べりれる中に爰を宮と申す事は、熱田の大明神おはします
敵に熱田を略して、沢宮と計申すなり。

〔土佐州郡志 土佐郡〕一宮庄○中

一宮在村東北正一位高
如茂大明神○下略

〔武藏演路足立郡〕簸川神社 大宮宿 一鳩居より本社迄十八町、武藏國二ヶ宮、神領三百石、今水
刑大明神外稱

〔攝津志〕矢田郡神廟 生田神社(中略)生

〔雍州府志〕寺院愛宕郡淨土寺 古天治門主有淨土寺之號今寺絕爲村名

〔大和志〕添上郡佛刹 紀寺(紀寺町中略元興寺○下略)

〔攝津志〕河邊郡佛刹 滿願寺(滿願寺町中略)冲山寺(冲山寺町中略)多田院(多田院村中略)大覺寺(尼崎大覺寺町中略)

〔和泉志〕和泉郡佛刹 國分寺(國分寺村中略)

〔江戸名所圖會〕醫王山國分寺 最勝院と號國分寺村にあり

〔地勢提要〕郡邑島嶼奇名

〔下總略〕中 神宮寺村

〔若狭國志〕遠敷郡村里 神宮寺(類聚國史所謂神頤寺後改神宮寺故村名亦從之)

〔大宰管內志〕佐嘉郡白山高寺

〔同書○肥陽古跡記載〕中 昔年熊襲退治御時、龍艦の著岸せし地を龍船島と云、即其處に寺院をたてて、龍造寺と號す(略)中 處名をも龍造寺村と云

〔倭訓采中編〕八 こくが 國衙と書り國司の政を行ふ所也、今尾張冲島郡に國衙庄あひて、司館の趾を國衙とむへり、